

追跡

どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか、追跡調査をした。

高齢者対策について

(平成24年12月定例会)

公民館や集会所で実施している健康教室・ふれあいサロン等に出向けず、家の中だけの生活をしている人に目を向けるべきではないか。また、予算編成で力を入れていただきたい。

質問

防災対策について

(平成24年6月定例会)

防災行政無線の緊急放送の内容を電話で聞くことができる音声自動応答サービス事業の取り組みをしてはどうか。また、避難所に非常用発電機や太陽光発電装置等を整備しては。

元気で生き生きと生活していける社会を作っていかなければならない

もう少し手厚い福祉を実施できるよう、民生委員さんと相談し、施策の中で生かしていきたい。また、事業のスクラップ・アンド・ビルド方式により予算編成を考えている。

答弁

音声自動応答サービスの導入を視野に入れた調査研究を行ってみたい

町民への情報伝達手段として防災設備は重要であり、音声自動応答サービスの導入を視野に入れていきたい。蓄電池を備えた太陽光発電装置を新庁舎建設に合わせて整備する。

現在の状況は、こうなっています

サロンを通じて社会福祉協議会・ボランティア・民生委員などが連携

高齢になっても介護が必要な状態にならないように、歩いて行ける公民館や集落センター等でふれあいサロンを設け、閉じこもりを防いでいる。地域包括センターの職員が、ふれあいサロンへ出向き、健康等に関する情報を発信すると同時に、気がかりな高齢者の情報を収集し、訪問している。平成25年度末現在で47カ所のふれあいサロンが登録され、述べ11,906人が参加している。

防災無線卓整備事業を優先している

平成25・26年度において、常北地区と桂地区にある防災行政無線卓をデジタル化し、建設中の新庁舎に統合する防災無線卓整備事業を優先して実施しており、自動音声応答サービスの導入は、いましばらく時間をいただきたい。蓄電池を備えた太陽光発電装置は、新庁舎に整備する。

編集後記

ついこの間までは無表情だった山々も、いつしかやわらかい新緑につつまれて、水面を渡る風も涼やかに、水田には早苗が植えられ、大地に生命の息吹きが溢れる良い季節となりました。

私たちはこの度の選挙により選出され、各常任委員会が構成されました。私たち7名は議会広報委員会として町民の皆さまと議会を結ぶ大切な役割を担うことになりました。議会だよりを通じて町民の皆さまと共通の意識を持ち、より良い議会だよりを作ります。前号から新たに、今までに各議員が行った一般質問の中から2点を選び、町のその後を通じて町民の皆さまに報告することになりました。今後、も皆さまに読んでいただける議会だよりを目指します。

議会広報委員会

- 委員長 三 蘭
- 副委員長 南 三
- 委員 関 南
- 委員 片 余
- 委員 藤 片
- 委員 岡 水
- 委員 咲 岡
- 委員 藏 紀
- 委員 美 子
- 委員 一 孝
- 委員 一 治
- 委員 一 信

蘭部 一 記